

南開大学に留学をして2カ月が過ぎようとしています。もうこの留學生活の折り返し地点にきているのかと思うと驚きを隠しきれません。ここまでを振り返ってみると毎日が矢のように過ぎたようにも、とても長く滞在しているようにも感じます。

10月には国慶節という中国の建国の祝いを利用して北京に行ったり、休日に中国の農村見学に行くなど様々な体験ができました。

○国慶節と北京旅行

中国では国慶節と呼ばれる建国記念の祝日が1週間もありました。さすがに1カ月たった実感のせいとか少し気疲れのようなものがあり初日はゆっくり休みました。そのあとで私たちは2泊3日の北京旅行にでかけました。この北京旅行では中国でも有名な建築物や観光地に行くことができました。

特によいと思ったのは万里の長城です。その雄大さもさることながら、なにより景色がよくもう少しすれば秋の紅葉で真っ赤になった山々を望むことができるよき時はとても悔しい気持ちになりました。

実際に見て触れて中国の文化を学ぶということはあたりまえですが、それとは別に自身の見解なども少し広がったようにも思います。どの日も天候に恵まれとてもよい体験ができました。



た日々を送れました。

この北京旅行も驚きや発見の連続でしたが、私が最も驚いたのは帰ってきて南開大学の寮の自室に帰ってきた時でした。なぜかというところに入った時にとても安心したからです。1カ月の生活ですっかり自分がここの生活に順応していたことを、この時とてもよく実感できました。

そのあとも国慶節の休みを利用して中国の伊勢丹に行き買い物をするなどしてとても充実した日々を送りました。

○天津1周観光と中国農村見学

10月の半ばには南開大学の漢語言文化学院の先生が企画してくれた天津1周観光と中国の農村に実際に行き現地の人との交流を楽しむ機会が設けられました。

天津1周観光では、今まで知らなかった天津の街並みや日本ではあまり見ることのない建造物を見ることができました。天津名物の狗不理包子（天津で有名な肉まん）も食べることができました。



翌日には、天津郊外の農村に赴き実際にその人と触れ合いながら昼食をいただきました。とにかく出される種類も多ければ量も多い。餃子が大皿で3皿出てきた時はさすがに無理だと思いました。しかもそのあとで更に2皿追加もされました。中国では出された料理は残すのが礼儀とされていますが、なるほどと思われました。そのあとで育てているハウスを見せて貰うなどして家路につきました。

さすがに2日連続でのイベントだったので、次の日はゆっくり休みました。

○カラオケ大会

10月の最後には南開大学の留学生同士でのカラオケ大会が催されました。

何か国もの人がグループであるいは1人で参加していました。わたしたちの中でも2つのグループが出場しました。わたしは出場はしませんでした。皆が前に出て歌っているのを応援していた時に少しもったいないことをしたなど感じました。どの国の出場者の人も上手に中国語の歌を歌っており10月の最後のイベントごととして相応しい盛り上がりを見せていました。



○10月を振り返り

9月が中国に慣れるという月であったとするならば、10月は中国に触れる月であったと言えるのではないかと思います。様々なイベント・行事があり、1カ月の中国生活での余裕のようなものが発揮できる機会が多くありました。授業などにもなれてきて少し緩みができてしまったところもありました。それは良くも悪くもあると思います。

あと 2 カ月、この 2 カ月とはまた違った生活を送ることでしょう。油断せず張りすぎず自分のやれるように頑張っていきたいです。

文学部中国文学科 2 年池内駿斗

